

令和4年度 ほうゆう保育園の自己評価

令和5年3月10日

●前期は、昨年度に続き、感染対策が厳しく三密を避け、登園自粛や休園のご理解ご協力を受けながら過ごした。

後期になり感染対策が緩和され少しずつ日常を取り戻した。しかし子どもたちや職員の経験不足から園生活リズムや設定保育内容等、すぐには安定出来ず、職員配置を手厚くする等苦戦した。年齢相応の発達を目指したが、友達との関わり方、言葉より先に手が出てしまう等、コミュニケーションの取り方の課題が多く上がった。

大人を介して人間関係構築のやり直しをし、丁寧な保育を心掛けた。その様子を保護者の方にも共有いただいたが、クレームに繋がる事もあった。分かりやすい説明をする事への難しさは、職員の課題として残る。

●秋には、運動会、幼児遠足、芋掘り、みかん狩り、ハロウィンと続けて行事を楽しむ事が出来た。『楽しい』を繰り返す度に話し声、笑い声が響くようになり園全体に活気が戻ってきた。

●給食室は、新職員も加わり安心安全をモットーにおいしい食事提供が出来ていると感じる。

保護者からもレシピを知りたいと好評だ。畑で収穫した野菜を採ってすぐ調理してもらったりお裾分けでいただいた芋を献立に反映したり恵まれた環境での食育経験をする事が出来ている。

●今後も一人一人の子どもの成長に寄り添った安全な保育を継続する事はもちろん、保護者の方々の悩みや不安の支えになれるよう努力を続けていきたい。